

描かれた女性たち

ー エコール・ド・パリの時代を中心に

Women Portrayed: Focus on the École de Paris Era

1920年代初頭のパリは、第一次世界大戦による物質的、精神的破壊から立ち直り、レザネ・フォル(狂乱の時代)と呼ばれる平和で熱狂に満ちた時代を迎えます。自由で開放的な雰囲気が広がる中、従来の価値観や道徳的規範からの解放も進むにつれ、多方面で活躍する女性たちもみられるようになる一方で、多くはこれまで通りの生活を強いられていました。

この頃、世界中からパリに集まったエコール・ド・パリと呼ばれる一群の画家たちは、世の中の光と影、それぞれの側面に視線を向け、さまざまな立場や境遇に生きた女性たちの姿を描き出しました。そうした作品の数々は、画家と女性たちとの交友や周囲の人々との関わりなど、さまざまな背景や要因から生み出されていったのでした。

本展では、パスキンをはじめ、ローランサン、藤田嗣治、ヴァン・ドンゲン、キスリングなど、エコール・ド・パリを代表する画家たちが女性たちをみつめて描いた作品を展覧し、この時期に生きた女性たちの実相に迫ります。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
I. モデルをみつめて					
エコール・ド・パリの画家たちが描いた女性像から、この時代のファッションや風俗をうかがうことができます。また、レザネ・フォル(狂乱の時代)といわれた華やかな時代の都市文化の一端も見ることもできます。しかし、それとは裏腹に、第一次世界大戦後の混乱や社会のひずみを反映して、モデルたちはどこか虚ろな表情を見せています。					
1	ジュール・パスキン	女	1906	ペン、インク、水彩・紙	19.7×21.4
2	ジュール・パスキン	後姿の裸婦 I	1908	鉛筆・紙	32.4×19.7
3	ジュール・パスキン	習作	1917	水彩、インク・紙	21.0×14.0
4	ジュール・パスキン	花束をもつ少女	1925-26	油彩・キャンバス	80.0×64.0
5	ジュール・パスキン	白いリボンの少女	1928	油彩・キャンバス	92.0×73.0
6	ジュール・パスキン	腰かける女	1928	油彩・キャンバス	76.0×63.0
7	ジュール・パスキン	二人のモデル	1924	油彩・キャンバス	99.0×80.0
8	藤田嗣治	二人の女	1918	油彩・キャンバス	92.2×73.3
9	キスリング	晴着の婦人	1925	油彩・キャンバス	73.0×60.0
10	キスリング	オランダの娘	1928	油彩・キャンバス	100.4×73.4
11	キスリング	裸婦	1926	油彩・キャンバス	73.5×54.8
12	マリー・ローランサン	婦人像	1920	油彩・キャンバス	73.5×61.0
13	キース・ヴァン・ドンゲン	ボドリ・ダッソン侯爵夫人	1919	油彩・キャンバス	130.5×97.5
14	キース・ヴァン・ドンゲン	A. W. グラヴェスタインの肖像	1909	油彩・キャンバス	100.0×81.0

II. ポーズをとらえて

エコール・ド・パリの画家たちは、家族や親しい間柄にあった女性たちのなにげないポーズや、思い思いのポーズ、時には身体をあらわにさらした官能的なポーズさえ主題としていました。心を通わず画家を前に、さまざまなポーズを見せる女性たちの姿がそのままに描写された作品には、女性たちの内面まで映し出されています。

15	ジュール・パスキン	ソファに腰かけるシュザンヌ	1911	油彩・キャンバス	65.5×54.0
16	ジュール・パスキン	肘掛け椅子のモデル	1925	油彩・キャンバス	54.6×45.7
17	ジュール・パスキン	ジャクリーン	1929	リトグラフ・紙	56.0×39.0
18	藤田嗣治	フランス娘	1945頃	木版・紙	39.2×26.0

19	エルミーヌ・ダヴィッド	自画像-17歳	1904	水彩・紙	71.5×52.5
20	ジュール・パスキン	黒いスカートのエルミーヌ	1911	鉛筆、水彩・紙	30.8×21.0
21	ジュール・パスキン	肘掛け椅子のエルミーヌ	1914	鉛筆、水彩・紙	32.0×21.3
22	ジュール・パスキン	エルミーヌ・ダヴィッド	1918	コンテ・紙	27.9×21.3
23	ジュール・パスキン	女学生	1908	油彩・キャンバス	55.0×46.0
24	ジュール・パスキン	ソファーに眠る女	1928	コンテ、水彩・紙	17.8×23.8
25	ジュール・パスキン	目ざめ	1925	リトグラフ・紙	24.0×19.5
26	ジュール・パスキン	イヴォンヌ	1930	鉛筆・紙	35.9×45.4
27	ジュール・パスキン	三人のモデル	1920	カーボン紙・紙	29.8×43.2
28	パール・クローグ	ローブをまとったテレーズ	1925	油彩・キャンバス	92.0×60.0
29	パール・クローグ	肘掛け椅子の女	1925	油彩・キャンバス	81.0×60.0
30	アンドレ・ドラン	裸婦	1928-29頃	油彩・キャンバス	92.4×72.4
31	アンドレ・ドラン	猫と裸婦	1936-38頃	油彩・キャンバス	108.3×150.5
32	国吉康雄	横たわる裸婦	1929	油彩・キャンバス	101.6×203.2
33	ジュール・パスキン	裸婦の構図	1915	油彩・キャンバス	46.0×55.0
34	ジュール・パスキン	三人の裸婦	1930	油彩・キャンバス	81.0×100.0
35	ジュール・パスキン	女の背中	1920	ろう型鑄造・ブロンズ	25.1×12.5×9.8
36	ジュール・パスキン	化粧	1908	ペン、インク・紙	30.5×20.3
37	ジュール・パスキン	みづくろいする女	1917	油彩・キャンバス	55.0×60.0
37 (裏面)	ジュール・パスキン	男たち	1917	油彩・キャンバス	55.0×60.0
38	ジュール・パスキン	横たわる裸婦	1913	鉛筆・紙	22.2×31.4
39	ジュール・パスキン	しゃがんでいるモデル	1920	コンテ・紙	32.4×25.1
40	ジュール・パスキン	立てるモデル	1922	鉛筆、コンテ・紙	32.7×25.4
41	ジュール・パスキン	仕事場のモデル	1923	鉛筆、コンテ・紙	25.4×33.0

Ⅲ. 親密な情景

街のカフェやサロンなどの社交空間、あるいは画家のアトリエなどに集まった女性たちは、親密に語り合い、身を寄せ合うなど、気ままな時間を楽しみました。エコール・ド・パリの画家たちは、こうしたプライベートな情景をつぶさに見つめ描写しました。そこにはさまざまな場における女性たちの人間関係や心の機微をかいまみることができます。

42	ジュール・パスキン	婦人と犬と子ども	1902頃	ペン、インク、水彩・紙	19.7×15.9
43	ジュール・パスキン	木陰にて	1912	クレヨン、パステル・紙	19.0×15.0
44	ジュール・パスキン	カフェにて	1913	ドライポイント・紙	12.2×17.2
45	ジュール・パスキン	室内	1925	ペン、インク、カーボン紙・紙	33.0×40.6
46	ジュール・パスキン	三人の女達	1927	油彩・キャンバス	54.0×64.0
47	ジュール・パスキン	公園にて	1918	コンテ、水彩・紙	19.7×27.0
48	ジュール・パスキン	マルティグ風景	1921	カーボン紙、水彩・紙	32.1×38.1
49	ジュール・パスキン	娘たち	1922	カーボン紙、水彩・紙	36.2×48.6
50	ジュール・パスキン	ジナとルネ	1928	油彩・キャンバス	90.5×71.3
51	ジュール・パスキン	女友だち	1925	リトグラフ・紙	31.5×24.0
52	ジュール・パスキン	姉妹 I	1926	コンテ・紙	31.1×46.1

53	マリー・ローランサン	三人の娘	1943	油彩・キャンバス	61.0×49.8
54	マリー・ローランサン	犬と三人の乙女	1930-40	水彩・紙	27.5×37.5

IV. 社会に生きて

レザネ・フォル（狂乱の時代）といわれたこの時代、開放的な雰囲気の中、活発な活動を繰り広げ、また趣味や余暇を積極的に楽しむ女性たちもみられるようになる一方で、第一次世界大戦後の混乱と復興の中、困難を克服して生きた女性たちも多くいました。画家たちは、こうした女性たちの姿をさまざまな視点からとらえています。

55	エルミーヌ・ダヴィッド	マルヌ河岸	1922	油彩・キャンバス	76.3×88.2
56	エルミーヌ・ダヴィッド	パリ郊外の干し草積み	1922	油彩・紙	87.0×69.4
57	エルミーヌ・ダヴィッド	寝具店	1922	油彩・紙、キャンバス	81.0×65.5
58	エルミーヌ・ダヴィッド	ロンシャン競馬場でのゴールイン	1932	油彩・キャンバス	73.0×92.0
59	エルミーヌ・ダヴィッド	会計係	1932	エッチング・紙	30.0×23.9
60	エルミーヌ・ダヴィッド	パルマ・ド・マリョルカ号	1928	ドライポイント・紙	36.7×43.6
61	エルミーヌ・ダヴィッド	パリ郊外—二匹の白い犬	1921	油彩・紙、ボード	54.5×65.0
62	エルミーヌ・ダヴィッド	森の散歩道	1922頃	油彩・キャンバス	58.5×71.5
63	ジュール・パスキン	キューバの人達	1917	油彩・キャンバス	53.0×64.0
64	ジュール・パスキン	良きサマリア人	1917	油彩・キャンバス	73.5×66.3
65	ジュール・パスキン	客と3人の娘たち	1905	インク、水彩・紙	20.4×13.8
66	ジュール・パスキン	洗濯女	1909	ドライポイント・紙	16.6×23.0
67	ジュール・パスキン	三美神の舞台	1910	ペン、インク、水彩・紙	14.0×16.4
68	ジュール・パスキン	遣手女	1911	グワッシュ、厚紙	40.0×24.8
69	ジュール・パスキン	魅惑の宵	1929	銅版・紙	32.3×24.8

*寸法は、縦×横、または幅×奥行×高さ。
*作品はすべて当館蔵。

小森忍と北海道

Komori Shinobu and Hokkaido

小森忍(1889~1962)は、窯業技術者として、陶磁学者として、そして陶芸家として、生涯をやきものに捧げたことで知られています。

小森の活動は、初期から一貫して研究を基本としていました。生地の大坂で窯業を学び、京都市立陶磁器試験場で中国古陶磁の調査に取り組んだ小森は、やがて満州に渡り、古代釉の解明と再現に尽力。その後、愛知、三重などへと拠点を移しながら、原料やデザインといった多様な側面から陶芸を追究し、数々の作品を世に送り出したのです。

1949(昭和24)年、小森は新天地を求めて北海道・江別に移り住みます。そして同地に拠点を定め、晩年まで旺盛な活動を展開。道内陶芸界の発展に大きく貢献しました。

本展では、当館所蔵の小森忍作品を一堂にご紹介するとともに、関連する資料、小森が北海道で関わった窯や作家の作品をあわせて展示します。熱い探究心をもとに、生涯、古陶磁のありようを理想として抱きつづけた小森忍の陶芸と、北海道の関わり的一端をご覧ください。

No.	作家名	作品名	制作年	材質〔資料：種別〕	寸法(cm)
1	小森 忍	結晶瑠璃釉花瓶		陶磁	10.3×27.0

古陶磁を追いかけて

2	小森 忍	青甕香炉	1956(昭和31)	陶磁	23.8×14.9
3	小森 忍	青磁花瓶		陶磁	10.9×28.0
4	小森 忍	辰砂釉花瓶		陶磁	15.8×16.0
5	小森 忍	釉裏紅花瓶		陶磁	14.8×30.7
6	小森 忍	三彩大皿		陶磁	33.7×6.2
7	小森 忍	龜甲釉扁壺		陶磁	18.8×20.1
8	小森 忍	緑釉草花紋筒		陶磁	12.7×20.6
9	小森 忍	黒釉刻花海草紋壺		陶磁	16.5×25.2
10	小森 忍	五彩奈良絵碗		陶磁	13.5×9.8
11	小森 忍	均窯手額皿		陶磁	26.7×3.8
12	小森 忍	ペルシャ釉大鉢		陶磁	33.5×8.9
13	小森 忍	銀ペルシャ燭台		陶磁	21.5×22.5
14	小森 忍	天目釉花瓶		陶磁	16.0×27.0
15	小森 忍	柑子口瓶		陶磁	15.7×30.1
16	小森 忍	鉄錆花文瓢注		陶磁	12.6×20.0×30.0

満州・瀬戸時代の作品から

資料1	小森 忍 (発行：旬雅会)	支那古陶磁焼窯明細図	1923(大正12)	〔印刷物〕	74.8×61.5
17	小森 忍	更紗瓷コーヒーセット		陶磁	ポット：12.6×19.5×20.8／ピッチャー：9.8×12.9×13.1／砂糖壺：14.5×18.0×12.3／カップ：9.0×12.2×8.1他／皿：15.1×2.5他(9点組)
18	小森 忍	花瓶	1928(昭和3)頃	陶磁	19.5×23.6

19	小森 忍	古銅鑲釉雲紋花瓶	1933(昭和8)頃	陶磁	12.7×22.0
20	小森 忍	絵高麗手パン皿	1928(昭和3)以降	陶磁	20.4×3.0
資料2	小森 忍	山茶窯デザイン(図案)帳／洋碟	1930(昭和5)頃	〔図案帳〕	33.5×36.5

小森忍が関わった北海道の窯・陶芸家

21	対馬英二	水指		陶磁	16.1×18.0×19.3
22	石坂勝美	トルコ青釉器	1973(昭和48)	陶磁	43.0×19.5
23	北工窯	馬絵大皿		陶磁	45.7×45.2×7.0
24	北工窯／沼田一雅	陶塑・狐		陶磁	14.5×35.1×20.3
25	北工窯	蓋物		陶磁	16.7×19.5
26	北工窯	ビールジョッキ		陶磁	9.7×14.8×13.4
27	北工窯	大瓶		陶磁	24.3×42.0
28	北窯	手宮古代文字文茶器セット		陶磁	急須：9.9×15.0×10.9 ／湯飲み：7.0×6.0他 (6点組)
29	北窯	手宮古代文字文徳利		陶磁	6.2×6.3×12.9
30	北窯	徳利		陶磁	7.0×13.8
31	北窯	もみじ文皿		陶磁	21.2×3.7
32	北窯	建物型灰皿		陶磁	10.3×12.8×5.8
33	石狩陶園／小森 忍	陶板・シェパード		陶磁	15.1×12.1

小森忍と北海道

34	小森 忍	雪結晶文花瓶	1957(昭和32)頃	陶磁	17.0×31.5
35	小森 忍	宝石釉花瓶		陶磁	9.0×23.0
36	小森 忍	楓葉双耳壺		陶磁	20.5×21.5×24.1
37	小森 忍	紅葉碟		陶磁	20.5×5.4
38	小森 忍	蘋果壺		陶磁	13.7×13.5×12.0
39	小森 忍	林檎壺		陶磁	16.0×14.9
40	小森 忍	蝦夷いが茶碗		陶磁	11.8×7.1
41	小森 忍	蝦夷志乃茶碗		陶磁	12.5×8.2
42	小森 忍	蝦夷天目茶碗		陶磁	11.7×6.7
43	小森 忍	蝦夷伯庵茶碗		陶磁	12.6×7.1
44	小森 忍	蝦夷伯庵茶碗		陶磁	14.3×8.5
45	小森 忍	搔落手アイヌ文花瓶	1955(昭和30)頃	陶磁	19.8×39.2
46	小森 忍	蝦夷文銘々皿		陶磁	9.1×10.6×2.1他 (5点組)
47	小森 忍	蝦夷文銘々皿		陶磁	9.3×10.9×2.1他 (5点組)
48	小森 忍	蝦夷絵高麗手草花紋花瓶	1958(昭和33)	陶磁	19.6×38.5
49	小森 忍	蝦夷薄高麗手アイヌ厚司紋壺		陶磁	20.6×17.5
50	小森 忍	蝦夷紋徳利・お猪口		陶磁	徳利：8.0×9.0 ／お猪口：各5.5×3.9 (3点)

51	小森 忍	柿釉アイヌ文曲盃		陶磁	12.1×21.1×12.9
52	小森 忍	めのこ文ビールジョッキ		陶磁	9.3×13.0×12.5
53	小森 忍	アイヌ文ビールジョッキ		陶磁	9.4×13.2×13.7
54	小森 忍	大筒花瓶		陶磁	21.4×28.0
55	小森 忍	花瓶		陶磁	13.7×17.7
56	小森 忍	花瓶		陶磁	10.3×26.0
57	小森 忍	鉄さび斑紋花瓶		陶磁	10.6×25.3
58	小森 忍	深鉢		陶磁	22.6×8.6
59	小森 忍／ 鈴木信太郎	絵皿		陶磁	27.0×2.9
60	小森 忍	鯨香炉		陶磁	10.3×16.5×8.0
資料3	小森 忍	スケッチブック	1960(昭和35)頃	〔スケッチブック〕	20.5×29.5
資料4	小森 忍	スケッチブック	1960(昭和35)頃	〔スケッチブック〕	14.9×21.2
資料5	小森 忍	図案／漁・牧場の風景	1960(昭和35)頃	〔スケッチ〕	21.4×28.0
資料6	小森 忍	図案／牧場・炭鉱の風景	1960(昭和35)頃	〔スケッチ〕	21.5×28.0
資料7		「エゾ百盃展示会」チラシ		〔印刷物〕	25.5×18.7

*寸法は、径×高さ、奥行×幅×高さ、または縦×横。

*資料2は櫻井啓子氏蔵、資料3, 4, 5, 6, 7は江別市蔵。その他はすべて当館蔵。

この1点を見てほしい。

松島巖《紡がれた器》

Enjoy One Special Piece: Matsushima Iwao “Spun Cup”

6,000点を超える当館コレクションの中から1点を選び、学芸員が多角的な研究を通して作品の奥深い魅力をご紹介します。

今回は、古代のコアガラス技法を用いて繊細な美意識を作品化した松島巖を取り上げます。

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
1	松島 巖	紡がれた器	1996(平成8)	ガラス：コアガラス技法	9.5×30.0

*寸法は、径×高さ。
*作品は当館蔵。

ウィズ・キッズ '26

まねしてはっけん！アートポーズ

Imitate and Discover! Poses in Art

作品になりきって、ポーズや顔をまねしてみよう。

まねをすると、目で見ただけでは気づかなかった、いろいろな特ちょうが見えてくる。

作品の中にはふれられるものもあるよ。見て、ふれて、まねして、体全部を使って、作品の良さを発見しよう！

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	本郷 新	裸婦座像	1960(昭和35)	ブロンズ	32.0×64.0×58.0
2	小寺真知子	アウローラ	1991(平成3)	ブロンズ	75.0×45.0×232.0
3	佐藤忠良	ボタン	1969(昭和44)	ブロンズ	30.0×40.0×127.0
4	荻原守衛	坑夫	1907(明治40)	ブロンズ	47.0×30.0×46.7
5	山内壯夫	三人の娘たち	1959(昭和34)	ブロンズ	36.0×85.0×142.0
6	レンブラント・ファン・レイン	版画商クレメント・デ・ヨンヘ	1651	エッチング、ドライポイント、エングレーヴィング・紙	20.4×15.8
7	エドワルド・ムンク	病める子	1894	ドライポイント、ルーレット・紙	38.7×29.2
8	小川マリ	花と女	1934(昭和9)頃	油彩・キャンバス	117.0×91.0
9	松樹路人	M氏の日曜日	1979(昭和54)	油彩・キャンバス	193.9×162.0

*寸法は、奥行×幅×高さ、または縦×横。
*作品はすべて当館蔵。